

教育委員会定例会日程

平成30年9月25日

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の決定
- 4 報告事項
 - (1) 史跡小田原城跡保存活用計画策定について (資料1 文化財課)
 - (2) 特別支援学級で使用する一般図書について (資料2 教育指導課)
- 5 議事
 - 日程第1
 - 報告第 6号
 - 事務の臨時代理の報告(平成30年9月補正予算)について (教育部)
- 6 その他
- 7 閉 会

史跡小田原城跡保存活用計画の策定について

1 目的

国指定史跡である史跡小田原城跡の歴史的な価値を明確にするとともに、今後の保存、整備、活用をさらに推し進めるべく、その基本的指針を示すため、「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」及び「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」を見直すとともに、これらを合わせて、新たに史跡小田原城跡全体に係る「史跡小田原城跡保存活用計画」を策定する。

2 策定期間

国庫補助事業として平成30年度から平成32年度までの3箇年で策定する。

3 対象範囲

昭和13年の1次から平成28年の11次までに史跡指定された史跡小田原城跡及びその周辺地を対象範囲とする。

4 検討体制等

(1) 史跡小田原城跡調査・整備委員会の部会として、「史跡小田原城跡保存活用計画策定部会」を設置(平成30年8月)し、内容を協議する。

(2) 部会員は9名とし、史跡小田原城跡調査・整備委員会の中から4名、その他委員5名とする。「史跡小田原城跡保存活用計画策定部会員名簿」のとおり。

ア 部会員 9人

(ア) 史跡小田原城跡調査・整備委員会委員 4人
(建築史、日本中世史、庭園植栽、城郭)

(イ) 専門委員 5人
(史跡、造園、自治会、観光協会、ガイド協会)

(3) オブザーバーとして文化庁、県文化遺産課に出席願うほか、市関係課職員も策定部会に参加する。

ア 国・県

(ア) 文化庁記念物課史跡部門

(イ) 神奈川県教育局文化遺産課

イ 市関係課

企画政策課、観光課、小田原城総合管理事務所、都市計画課、まちづくり交通課、みどり公園課

5 策定スケジュール

別表「史跡小田原城跡保存活用計画策定スケジュール」のとおり

史跡小田原城跡保存活用計画策定部会員名簿

	専 門	氏 名	役 職	選出区分
1	建築史	小沢 朝江	東海大学工学部教授	史跡小田原城跡調査・整備委員会委員
2	日本中世史	伊藤 正義	前鶴見大学文学部教授	史跡小田原城跡調査・整備委員会委員
3	庭園植栽 景観	宮内 泰之	恵泉女学園大学准教授	史跡小田原城跡調査・整備委員会委員
4	城郭	小笠原 清	報徳博物館館長	史跡小田原城跡調査・整備委員会委員
5	史跡	佐藤 正知	前文化庁記念物課 史跡部門主任文化財調査官	専門委員(史跡)
6	造園 樹木保護	富田 改	樹木医 株式会社湘南グリーンサービス相談役	専門委員(造園・樹木保護)
7	市民	木村 秀昭	小田原市自治会総連合会会長	専門委員(市民)
8	市民	高村 完二	一般社団法人小田原市観光協会 DMO推進マネージャー	専門委員(市民)
9	市民	堀池 衡太郎	NPO法人小田原ガイド協会会長	専門委員(市民)

史跡小田原城跡保存活用計画策定スケジュール（平成30年度～32年度）

年度	月	史跡小田原城跡 保存活用計画策定部会	教育委員会	市議会	関係者等との調整	保存活用計画 策定作業		
平成30年度	4				● 文化庁・県等と協議 (通年・随時)	素案作成		
	5							
	6		● 調査・整備 委員会に諮問 (6/26)					
	7							
	8	● 第1回部会 (8/2)						
	9			● 報告(9/10)				現況図作成
	10							
	11							
	12							
	1							
	2	● 第2回部会						
	3							
平成31年度	4				● 文化庁・県等と協議 (通年・随時)	計画策定支援業務		
	5							
	6	● 第3回部会						
	7							
	8							
	9							
	10	● 第4回部会						
	11							
	12							
	1							
	2	● 第5回部会	● 報告	● 報告				
	3							
平成32年度	4				● 文化庁・県等と協議 (通年・随時)	● 素案完成		
	5	● 第6回部会	● 報告	● 報告				
	6						● 市民説明会	
	7						● パブリックコメント 実施・結果公表	
	8							
	9							
	10	● 第7回部会 (修正・最終確認)						
	11		● 調査・整備 委員会から 答申受理					
	12			● 報告				
	1							印刷製本
	2							
	3							

史跡小田原城跡指定区域図

平成30年8月現在

参考資料

城下張出

山ノ神堀切

稻荷森

総構

百姓曲輪

八幡山古郭東曲輪

八幡山古郭

本丸・二の丸

蓮上院土塁

江戸口見附

小峯御鐘ノ台大堀切

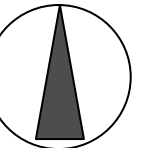
大手門・三の丸土塁

三の丸外郭新堀土塁
(旧アジアセンター)

三の丸外郭清閑亭土塁

総構 早川口遺構

N



資料 2

平成 3 1 年度使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択一覧における書籍名称の変更について

7 月定例会において採択された、平成 3 1 年度使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択一覧における書籍名称について、次のとおり修正します。

【修正前】

No.	書籍コード	種目	発行者コード	発行者名	書籍番号	書籍名称
199	コード外	道徳	10-9	こばと		ソーシャルスキル S S T ワークシート (上)



【修正後】

No.	書籍コード	種目	発行者コード	発行者名	書籍番号	書籍名称
199	コード外	道徳	10-9	こばと		ソーシャルスキルトレーニング用ワークシート (上)

【修正理由】

「一般図書一覧」等に記載のないコード外の書籍を希望する学校は、出版社に直接連絡し、書籍名称等確認することとなっているが、その確認のため学校が出版社に書籍名称等を確認した際に、出版社から誤った書籍名称を伝えられたため。

報告第6号

事務の臨時代理の報告（平成30年9月補正予算）について

小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成10年小田原市教育委員会規則第4号）第3条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定により、これを報告する。

平成30年9月25日提出

小田原市教育委員会
教育長 栢沼 行雄

平成30年9月補正予算概要

(歳入)

(単位：千円)

科目	補正予算額	主な内容
(項)市債 (目)教育債 小学校債	1,126,300	義務教育施設整備事業債
(項)市債 (目)教育債 中学校債	523,000	義務教育施設整備事業債
合計	1,649,300	

(歳出)

(単位：千円)

科目	補正予算額	主な内容	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
(項)教育総務費 (目)事務局費	100	一般経費 内部事務 ・事業者選定委員会アドバイザー謝礼	0	0	0	100
(項)小学校費 (目)学校管理費	1,501,827	小学校教育環境整備経費 学校施設維持・管理事業 ・普通教室等空調設備設置事業費	0	1,126,300	0	375,527
(項)中学校費 (目)学校管理費	697,346	中学校教育環境整備経費 学校施設維持・管理事業 ・普通教室等空調設備設置事業費	0	523,000	0	174,346
合計	2,199,273		0	1,649,300	0	549,973

平成30年度夏季休業中の学校閉庁日の実施状況等

1 閉庁期間中の教育委員会への問い合わせ状況

(1) 問い合わせ件数

8月13日	8月14日	8月15日	計
2件	2件	0件	4件

(2) 問い合わせ内容

- ・学校施設の破損について
- ・学校発行の証明書について
- ・学校施設の電気点灯について
- ・旅行先で迷子になった子供の連絡先について

2 学校閉庁期間中の出勤状況

(1) 小学校出勤状況

出勤者数 (延べ)				出勤者数 (実数)				出勤率 (延べ)	出勤率 (実数)	対象 職員数
13日	14日	15日	計	3日 出勤	2日 出勤	1日 出勤	計			
35人	12人	7人	54人	2人	3人	42人	47人	2.87%	7.48%	628

(2) 中学校出勤状況

出勤者数 (延べ)				出勤者数 (実数)				出勤率 (延べ)	出勤率 (実数)	対象 職員数
13日	14日	15日	計	3日 出勤	2日 出勤	1日 出勤	計			
31人	7人	5人	43人	2人	5人	27人	34人	4.41%	10.46%	325

(3) 幼稚園出勤状況

出勤者数 (延べ)				出勤者数 (実数)				出勤率 (延べ)	出勤率 (実数)	対象 職員数
13日	14日	15日	計	3日 出勤	2日 出勤	1日 出勤	計			
3人	3人	1人	7人	0人	0人	7人	7人	8.05%	24.14%	29

※出勤率 (延べ) は、出勤者数 (延べ) 計の値を、対象職員数×3 (日間) の値で除したもの

※出勤率 (実数) は、出勤者数 (実数) 計の値を、対象職員数の値で除したもの

※対象職員数は、平成30年度「小田原の教育」の値

3 主な出勤理由

(1) 対外的業務

- ・部活動（県大会等への生徒引率ほか）のため
- ・給与明細受領のため
- ・ブロック事務組織会議に出席するため

(2) 内部業務

- ・給与事務対応のため
- ・飼育生物の世話のため
- ・植物への水やりのため
- ・プールの水質管理のため

4 その他（主な課題・要望的な内容を記載）

- ・臨時任用の職員については、有給日数が少ない中で、閉庁期間に休みを当てざるをえなかった。
- ・飼育生物や植物の世話をどうするのか。
- ・給与事務に係る業務について閉庁期間中に重ならないようにしてもらいたい。
- ・学校閉庁日については、夏季休業・有給休暇扱いでなく、休日または職務専念義務免除にしてもらいたい。
- ・学校の電話機を録音機能付、メッセージ再生機能付のものにしてほしい。
- ・閉庁期間を長くしてほしい。